



塩谷建水第95号
平成19年5月1日

国土交通省関東地方整備局長 様

塩谷町長 柿沼 尚志



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号により依頼がありました標記の件につきまして、
町長の意見書を別紙のとおり送付いたしますので、よろしくお願いいたします。

なお、一般の方にお問い合わせのアンケートについては、参考までに記入いたしましたので、同封させていただきます。

塩谷町役場建設水道課
建設担当 沼尾 三郎
TEL 028-45-1114



意見書

1 人と物流・文化の流れを構築し、企業誘致が推進できる道路整備

塩谷町の幹線道路に位置付けされている道路は、一般国道 461 号と県道数路線であります。日光北街道と称されている国道 461 号は茨城県・栃木県両県を結び、日光・鬼怒川・群馬県へのアクセス道路として利用されている本町の大静脈であります。また、東北縦貫自動車道矢板 IC 及び上河内スマート IC を利用し本路線を通行する観光客や企業関係者が多く、本町に日帰りできる範囲が約 200Km 前後と広範囲になっており、この地理的条件を活かし企業誘致を図ることが、本町の生き残るための絶対的要件であります。どうか道路幅員が狭隘で歩道も無い危険な未整備区間を早急に整備くださるよう要望いたします。

2 中山間地域の振興策としての道路整備

県都宇都宮市と日光市藤原(鬼怒川温泉)を結ぶ主要地方道県道藤原宇都宮線は、都市部・農村部・中山間部と環境の変化に富んでいます。農村部の平坦地を流れる国交省直轄河川「鬼怒川」に架かる上平橋の老朽化と一車線通行を解消するため、橋梁架け替えと併せて橋の袂に「ポケットパーク(簡易駐車場)」を整備していただきましたので、隣接に JA 運営の農産物直売所を開設、道路利用者の憩いの場として大変な賑わいでありました。中山間部においては、高原山系の「天然記念物のいぬブナ林」「全国名水百選の尚仁沢湧水群」「県民の森」「全国植樹祭会場跡」等風致景観がすぐれたところが多く、「癒しの道」として県内外から大勢の方が訪れています。しかし、道路が狭隘でかつ急勾配であるため、中型バス以上の車両通行が不可能であるため、途中で U ターンしなければならない状況にあります。費用対効果を考慮すると、歩道付 2 車線の道路は望めませんが、急勾配の解消を図り数箇所の待避所を整備し、中型バスの通行が可能な安全安心の道路整備の促進を要望いたします。

3 安全安心の道路整備及び財源の確保

町新長期振興計画「キラリしおや 21 プラン」を推進するうえで、安全安心の道路整備は欠かすことができない事業であります。厳しい財政事情であることから「地域に即した道路整備」についても補助対象事業の制度化をはかっていたかとともに、地方道路の整備はまだまだ遅れていますので、道路特定財源を堅持し事業推進のスピード化を図るよう強く要望いたします。

平成 19 年 5 月 1 日

追伸 「中期的な計画の作成にあたっての意見」とのことですが、勝手ながら本町道路整備状況を踏まえての要望事項となりましたので、よろしく願いいたします。

国土交通省関東地方整備局長 様

塩谷町町長 柿沼 尚志

